

5月14日（水）御坊市・2025年原水爆禁止国民平和大行進 日本政府は禁止条約の署名・批准を！！



5月14日水曜日。御坊市の平和行進です。御坊市庁舎駐車場で出発集会は開催されます。

集会前に、楠本誠司日高地区労議長と小川春美御坊市会議員と県事務局で要請行動をおこないました。総務課では、短時間仮屋基浩総務部長と懇談しました。

平和行進出発集会は、楠本誠司日高地区労議長の進行です。地元教職員組合の嶋田さんが開会挨拶をします。次いで、県実行委員会から「平和行進は5月7日橋本市から歩いてきました。被爆者の方々は、核兵器が投下されたきのご雲の下がどうゆう世界となったかを、被爆の実相を、世界の市民や諸国政府に訴えてきました。核兵器禁止条約はこうした被爆者の運動の中で誕生しました。そうした功績を讃えられ、昨年日本被団協はノーベル平和賞を授与しました。」と発言しました。

次いで、三浦源吾御坊市市長のメッセージを仮屋総務部長が代読します。「終戦80年を迎え、戦争体験や記憶の風化が進んでいます。核兵器廃絶を訴え、平和行進を続けている皆様の活動に敬意を表するものです。世界唯一の被爆国日本国民、核兵器の恐ろしさを忘れる事なく、永遠の平和を願い行動する事に大きな意味があります。今なお、世界では争いは絶えませんが一日も早く全世界に恒久平和が訪れる事を祈念してやみません。」

わかやま市民生協からは、中山愛郷文さんが決意表明をおこないます。最後、御坊市集会アピールが日高平和委員会の新田君が読み上げて確認されます。

御坊市の平和行進は、市庁舎から国道24号線を北上しロマンシティまで歩き、再び市庁舎まで帰って来るコースです。楠本文郎さんが昨年同様、「ロシアの核威嚇は許さないぞ」「戦争準備反対」「核兵器はなくそう」「日本政府は禁止条約に入れ」と市民にシュプレヒコールして訴えました。本日の平和行進は、印南町です。

県原水協事務局